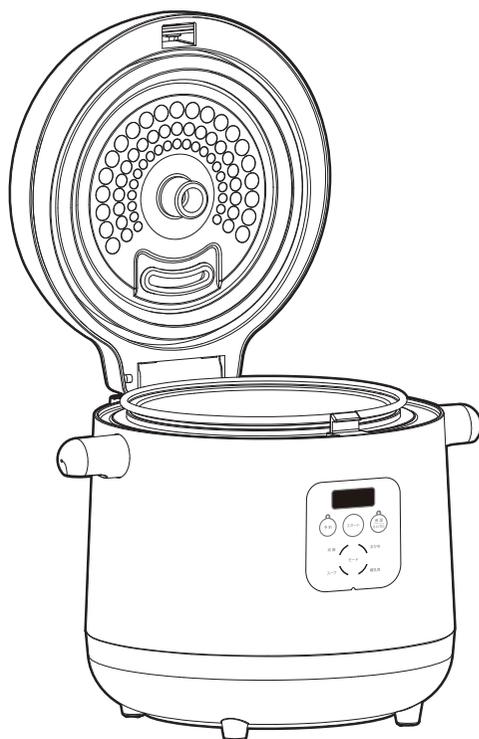


GREENHOUSE

2合炊き炊飯器

取扱説明書

GH-RCKA シリーズ



目次

□安全上のご注意(安全に正しくご使用いただくために)	2
□使用上のお願い(末永くご使用いただくために)	8
□各部名称	9
□使用する前に	12
□使いかた	13
□お手入れのしかた	17
□トラブルシューティング	18
□製品仕様	20
□故障について	21

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明



この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。



この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。



この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

異常に煙が出たら、すぐに保温 / 取消ボタンを押し、動作を止めてから、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異常に発熱したら、すぐに保温 / 取消ボタンを押し、動作を止めてから、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに保温 / 取消ボタンを押し、動作を止めてから、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音が出たら、すぐに保温 / 取消ボタンを押し、動作を止めてから、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに保温 / 取消ボタンを押し、動作を止めてから、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異物が内部に入ったら、すぐに保温 / 取消ボタンを押し、動作を止めてから、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告 使用について



水滴れ
禁止

電源コードのプラグは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災やショート、感電の危険があります。



禁止

使用前に、製品に破損がないか確認してください。
破損したまま使用すると火災や感電、ケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電、ケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



禁止

使用時以外では、開始ボタンや保温ボタンを押さないでください。
やけどやケガの危険があります。



禁止

分解や改造をしないでください。
ケガ、火災や感電の危険があります。



禁止

お子様や取り扱いに不慣れな方だけで使用しないでください。
ケガ、火災や感電の危険があります。

警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

電源コードのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで使用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、発熱により火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

使用時以外は、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



定期的に
プラグを掃除

電源コードのプラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源コードのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。
定期的に電源コードのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源コードのプラグのお手入れは、コンセントから取り外して行ってください。
電源コードのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

定格15A以上の100ボルト交流電源(AC100V)コンセントを単独でご使用ください。延長ケーブルやOAタップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などで他の器具と併用すると、発熱により火災の原因になります。延長コードは使用しないでください。



コード傷つけ
禁止

電源コードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災やショート、感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



禁止

付属の電源コード以外を使用したり、他の機器に付属の電源コードを使用しないでください。
故障や発火の原因になります。

警告 設置について



不安定な場所に置かない

製品はしっかりとした水平な台、机などに設置してください。
不安定な場所、傾いた場所で使用すると内容物がこぼれたり、落下や火災の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など湿度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

乳幼児や感覚や行動に不自由のある方の手の届くところに放置しないでください。
ケガややけどの危険があります。



水滴れ
禁止

長時間水がかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災やショート、感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取り除いてください。



禁止

じゅうたんや畳、テーブルクロスなどの可燃性の高いものや、ガラスやプラスチックなどの耐熱性の低いものの上に置いて使用しないでください。
火災の原因になります。

注意 使用について



使用中は本体を移動しないでください。
ケガややけどの原因になります。

禁止



使用中や使用後は、蒸気口やふた周辺部は高温になりますので、直接触れないでください。
ケガややけどの原因になります。

禁止



使用中は本体をふきんやタオルで覆った状態にしないでください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

禁止



使用後のお手入れや持ち運びは、本体の粗熱がとれてから行ってください。
ケガややけどの原因になります。

禁止



使用後は必ずお手入れしてください。
故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

禁止



付属の内がま、内ぶた以外は使用しないでください。
過熱や異常動作の原因になります。

禁止



調理中や本体を持ち運ぶときは、必ずふたを閉めてください。
破損したり、ケガややけどの原因になります。

接触禁止

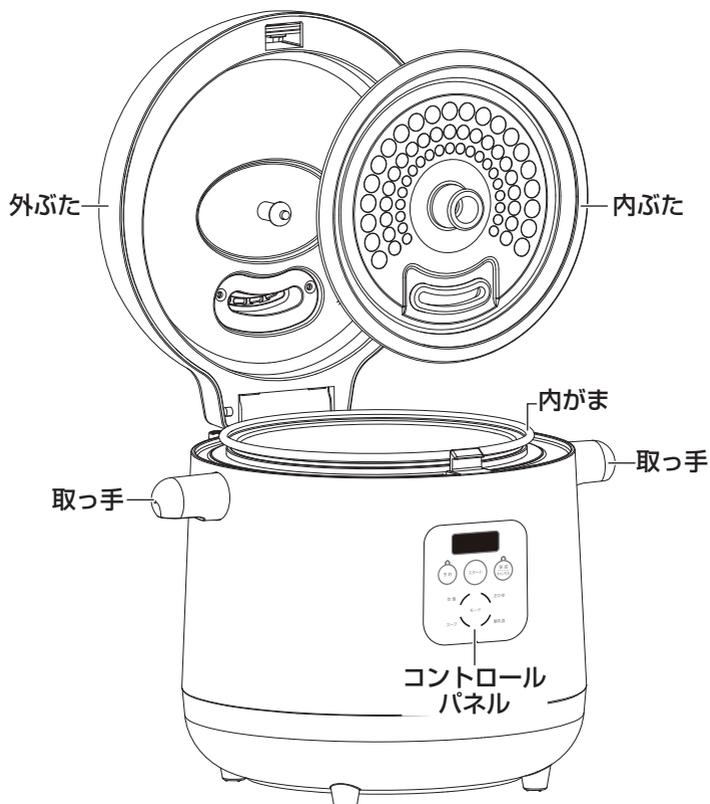


壁や家具の近く、周囲に熱がこもる環境で使用しないでください。
熱や蒸気により家具の変形や変色、火災の原因になります。

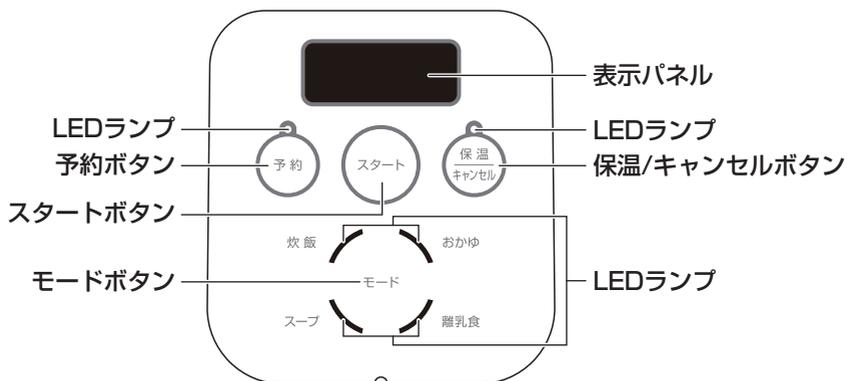
禁止

各部名称

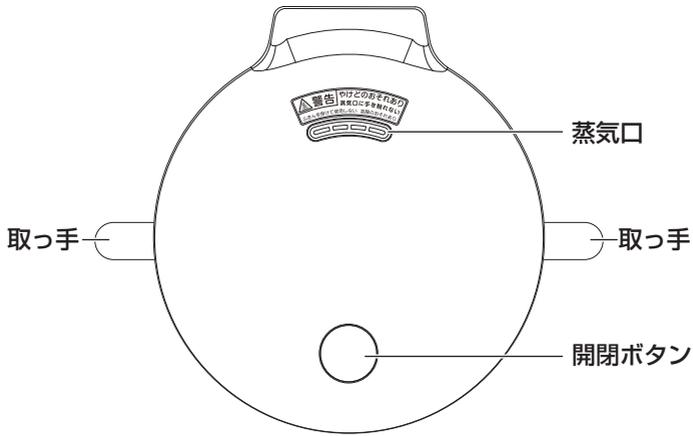
正面図



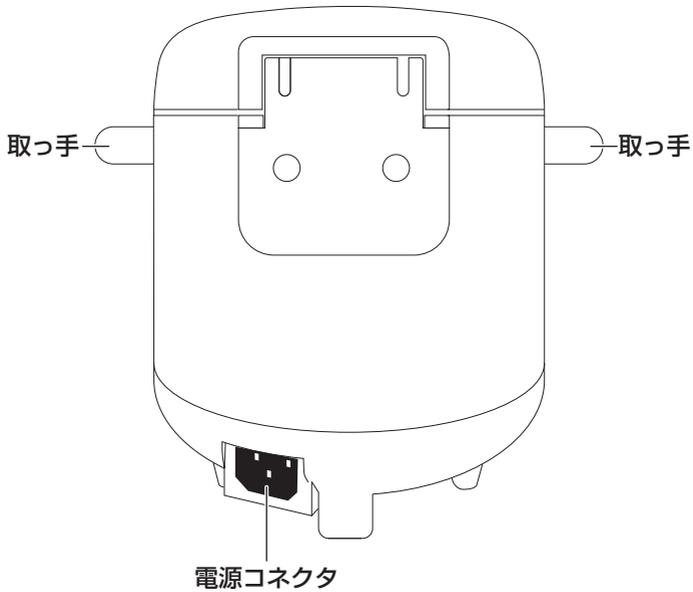
コントロールパネル



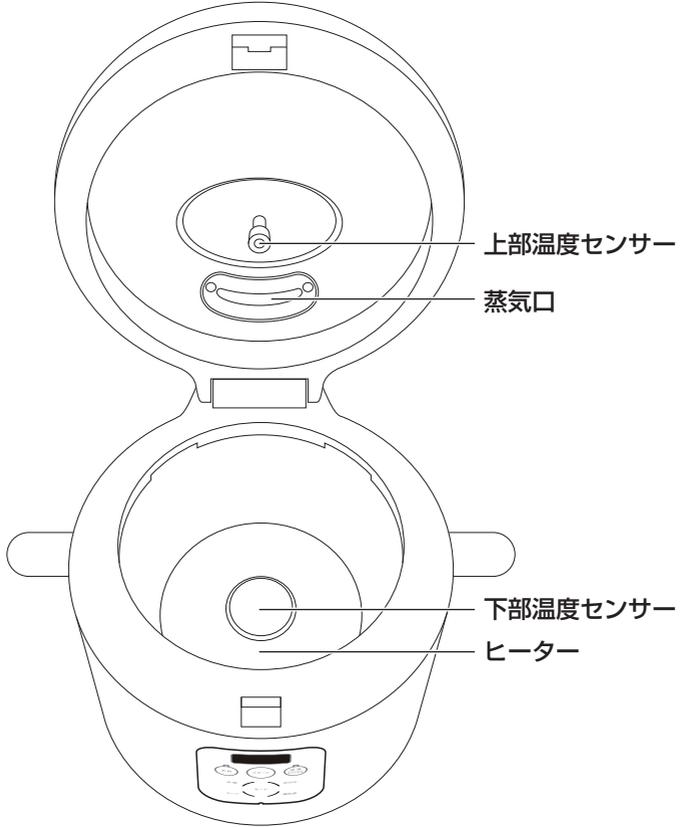
上面図



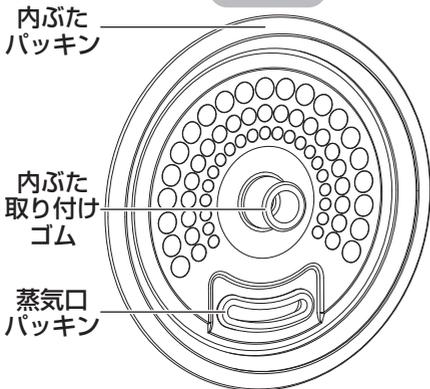
背面図



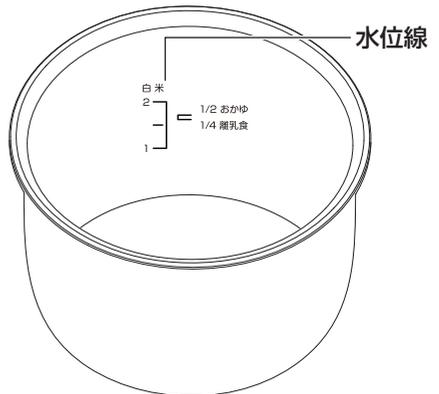
内部図



内ぶた



内がま



使用する前に

■内容物の確認

- パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。
 - ・製品本体
 - ・内がま
 - ・内ふた
 - ・しゃもじ
 - ・計量カップ (180ml)
 - ・電源ケーブル
 - ・取扱説明書 (本書)
 - ・保証書

■保護材や緩衝材について

- 本体を保護するため、工場出荷時に本体を袋やシートなどの保護材で包んでいますが、使用前に必ずすべての保護材を取り除いてください。
保護材が残ったまま使用すると、故障の原因となり、火災の危険があります。

■パッケージから取り出したら

- パッケージから取り出した後、本体と各部品をお手入れしてから使用してください。
お手入れの方法については、P.17を参照してください。

■電源コードについて

- 工場出荷時に電源コードを束ねた状態にしていますが、使用前に必ず電源コードをほどいてください。
電源コードが束ねられたまま使用すると、火災の危険があります。

■保護油について

- 一部部品に油が塗布されており、加熱されて煙やにおいがすることがありますが、そのまま使用しても問題ありません。
においが気になる場合は炊飯モードで数回水を沸かしてから使用してください。

■炊飯器調理について

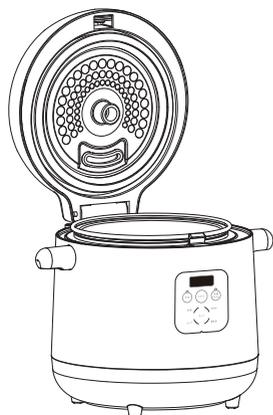
- スープ調理、炊き込みご飯など白米以外の食材を使用する際は葉物野菜、薄切り肉などは入れないでください。蒸気口が詰まり、ふきこぼれる原因となります。
- かま内調理器具の使用には対応していません。

■食の安全性について

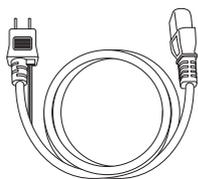
- 長時間予約または長時間保温を行う際、食材に付着する細菌が内がま内部で繁殖することにより食中毒を起こす危険があります。食材は新鮮なものを使用し、なるべく短時間の予約を設定し、調理後は速やかに取り出し、その日のうちにお召し上がりください。
また、生の肉類などを調理する際は予約設定をしないでください。
- 調理に使用するまな板、包丁などの調理器具はアルコール消毒などを行い、清潔なものを使用してください。
- 食材を扱う際は、手に付着している細菌を移さないため、素手ではなく、使い捨て手袋の着用をおすすめします。

使いかた

準備するもの



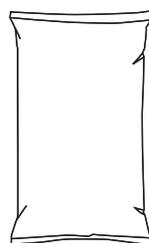
製品本体



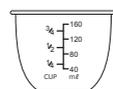
電源ケーブル



しゃもじ



食材



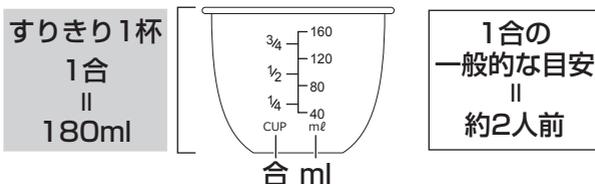
計量カップ



容器(ボウルなど)

お米の準備

①米を計量カップで計ります。



- 計量カップすりきり1杯で1合です。
- 炊飯は2合まで、お粥は0.5合まで、離乳食は0.25合まで炊くことができます。
- 1/2の目盛で0.5合、1/4の目盛で0.25合を計ることができます。

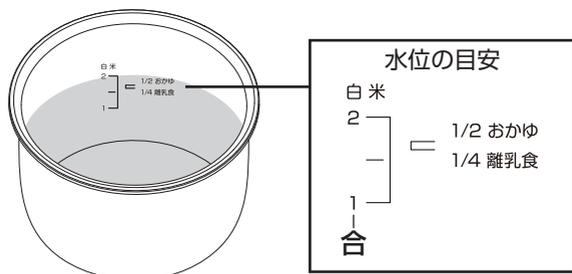
②米をボウルなどに移し変え、米を洗ってください。

- (1)最初は多量の水で大きくかき混ぜてから水を直ぐに捨ててください。
- (2)続いて数回、指を立て軽くかき混ぜるように洗ってください。
- (3)最後に多量の水で3回程度手早くすすいでください。



- コーティング保護のため、内がまで米を洗わないでください。
- お湯で洗わないでください。
- 時間が掛かると、米が水を吸い、仕上がりに影響します。
- 力を入れて米を洗うと、割れて仕上がりに影響します。

③内がまを水平な所に置き、炊く米の分量にあわせた目盛を目安にして水を入れてください。



- 米の銘柄、産地、保存日数、保存状態などによって炊き上がりに差がでます。お好みで調整してください。
- 5℃から35℃の水を使用してください。
- 変色やにおいが生じるため、アルカリイオン水などは使用しないでください。

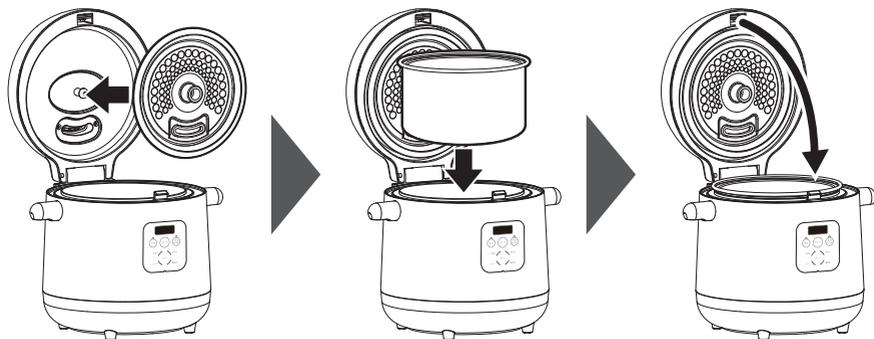
スープの準備

①食材と水を内がまに入れます。

- 食材と水は、炊飯の2合の水位線よりも多く入れないでください。
- 葉物野菜、薄切り肉、薄皮など薄く平たいものを調理すると、蒸気口に詰まり吹きこぼれる可能性があるため、別途調理をしてください。
- 詳細な分量は各調理レシピを参考にしてください。

使用方法(調理)

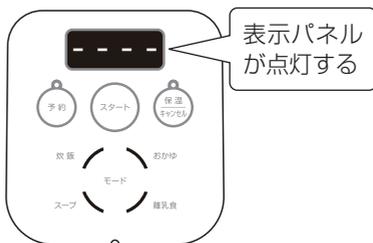
①内ぶた、内がまをセットして、外ぶた押しで「カチッ」と音がするまでを閉めてください。



- 本体内側や内がまの外側に付着した米粒、水滴はふき取ってください。
- 内ぶたやパッキンが正しく取り付けられているか確認してください。
- 米は平らにならしてください。

②電源コードを接続してください。

- 電源コードを後ろの電源コネクタに接続した後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 操作の取り消し、保温や炊飯の中断には保温/取消ボタンを押してください。
- 電源が入ると表示パネルが----の表示になります。

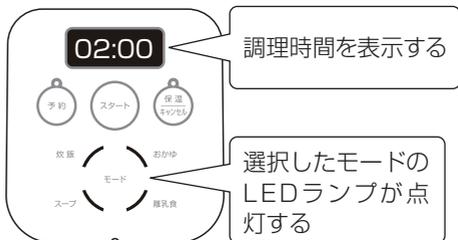


③【モード】ボタンを押して、調理したいモードを選んでください。

- 【モード】ボタンを押すごとに炊飯→お粥→スープ→離乳食の順番で変わります。
- 選択された機能に対応したLEDが光ります。
- 各機能の調理時間は右表になります。
- 炊飯モードの時間は水温や量により前後します。1合で35分～40分、2合で40分～45分が目安です。

各機能の調理時間

炊飯	45±15分
お粥	1時間
スープ	2時間
離乳食	2時間



④【予約】ボタンを押して予約時間を選んでください。

- この予約タイマーは時間経過後に調理開始となります。
- 最短1時間から最長24時間まで設定出来ます。
- 【予約】ボタンを押すごとに4時間～9時間30分(30分単位)、10時間～24時間(1時間単位)、1時間～3時間30分(30分単位)で切り替わります。
- 【スタート】ボタンを押す、または5秒経過すると「ピーピー」と電子音が鳴り予約タイマーが動作し始めます。
- 予約中に停電などで電源が切れると、再度電源が入ったときに6回電子音が鳴りタイマーが再開します。



⑤予約をせず【スタート】ボタンを押す、または予約時間経過後に「ピーピー」と電子音がなり調理が開始されます。

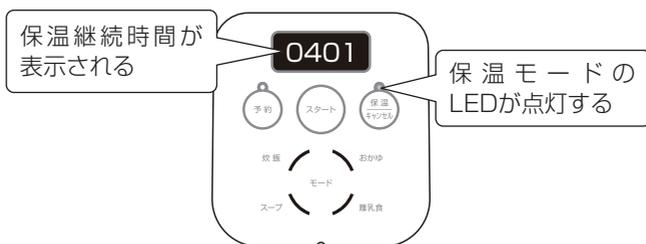
- 炊飯モードでは終了時間が残り10分になるまで、表示パネルにアニメーションが表示されます。残り10分からタイマー表示となります。



保温機能について

炊飯、おかゆ、スープ、離乳食の調理完了後、または動作停止中に【保温/キャンセル】ボタンを1度押すと保温モードになります。

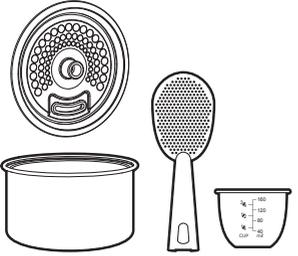
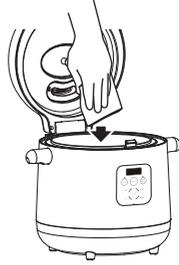
- 最大24時間保温します。
- 長時間保温するとごはんが黄ばんだり、かたくなったりします。ラップなどに小分けにして冷凍庫で保存し、適宜解凍してお召し上がりいただくことをおすすめします。



お手入れのしかた

製品本体は防水設計されていませんので、下記にしたがってお手入れを行ってください。

- 食べ物に直接触れるものとなりますので、使用前や使用後は必ず洗浄し、常に清潔な状態を保ってください。
- 洗浄後は、十分に乾かしてください。

 水洗い可	 水洗い不可	
内ぶた、内がま、しゃもじ、計量カップ	本体外側	本体内側・ヒーター・サーモスタット
 <ul style="list-style-type: none"> ●ご使用ごとにやわらかい布やスポンジを使って台所用中性洗剤で洗い、よくすすいで乾燥させてください。 ●パッキンは水にぬらして固くしぼった柔らかい布やスポンジでふき取ってください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●製品本体の汚れは、やわらかい布やスポンジで軽くふき取ってください。 ●ひどい汚れはぬるま湯にやわらかい布やスポンジを浸し、固くしぼってからふき取ってください。 ●電源コード、挿込口が汚れたときは乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●つゆけにたまった水は冷めてからすぐにふき取ってください。 ●本体内側、ヒーター、サーモスタットが汚れたときは水にぬらして固くしぼったやわらかい布やスポンジでふき取ってください。 ●ヒーターやサーモスタットに米粒や異物が固まったときは、竹串などで取り除いてください。

※長期間使用しない場合は、お手入れ後に十分に乾かし、高温多湿を避けて保存してください。

トラブルシューティング

※本項目に記載の確認を行って問題が解決しないときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。

■電源、動作に関するトラブル

症状	原因	対処方法
表示パネルが点灯しない	電源コードがコンセント、本体にしっかり挿し込まれていますか？	電源コードを確実にコンセントと本体に挿し込んでください。
【スタート】ボタン、【予約】ボタンを押しても動かない	調理モードの設定はされていますか？	【モード】ボタンを押し、調理モードを選択してから【スタート】ボタン、【予約】ボタンを押してください。
炊飯時間が長すぎて出来上がらない	分量が多すぎたり、冷蔵、冷凍された食材を調理していませんか？	食材の量を減らしたり、あらかじめ解凍された食材を調理してください。
炊飯時間が短すぎて出来上がらない	分量が少なすぎたり、加熱された食材を調理したり、連続で使用していませんか？	食材の量を増やしたり、食材のあらかじめ熱を取ってから調理してください。
予約時間通りに出来上がらない	予約タイマーは調理が始まるまでのタイマーです。	希望する時間から各調理機能の時間を引いて予約してください。
カチカチと音がする	ヒーターのオン、オフの切り替わりで発生します。	正常です。
ジュッ、パチパチと音がする	内がまの外側についた水滴が沸騰する音です。	内がまをセットするまえに水滴をふき取ってください。
開けたときに水が垂れる	内ぶたは正しくセットされていますか？	本体の蒸気口と内ぶたの蒸気穴が合う様にセットしてください。

■表示パネルにエラーコードが表示され、動作しないトラブル

表示内容	原因	対処方法
E1	動作範囲外の温度環境に設置されていませんか？	電源コードを外し、動作範囲内の温度環境に安置してから再度電源コードを繋いでください。再度エラーコードが表示された場合、温度センサーの故障が疑われますので直ちに使用を中止してください。
E2		
E3		
E4		
E5	過熱防止機能が動いています。	電源コードを外し、かまが常温まで冷めてから再度電源を入れてください。

■調理についてのトラブル

症状	原因	対処方法
ごはんが生煮えになる、芯が残る、やわらかい	お米、水は正確に計りましたか？	お米は付属の計量カップで正確に計ってください。また、水平でない場所で水量を調整すると量が正確に計れないことがあります。
	内がまの外側、ヒーターなどに米粒や食材がついていませんか？	取り除いてから調理してください。
	内ぶたや内がま、パッキンがめくれたり変形していませんか？	パッキンを正しく付け直してください。内ぶたや内がまが変形したままの使用は故障の原因になりますので直ちに使用を中止してください。
	ごはんが炊き上がった後に蒸らししてからほぐしましたか？	炊き上がった後に10分程蒸らしてからよくほぐしてください。
	予約設定時間が長すぎませんか？	米の劣化や過剰な吸水を防ぐため、長時間の予約をしないでください。(目安として予約は12時間以内)
	白米以外を炊いていませんか？	玄米、もち米、無洗米、酢飯などは水の分量が異なります。食材にあわせたレシピを確認してください。
ごはんが焦げる、固くなる	室温、水温が低すぎたり標高が高い場所で炊飯していませんか？	室温、水温を上げたり、標高が低い場所で使用してください。
	お米、水は正確に計りましたか？	お米は付属の計量カップで正確に計ってください。また、水平でない場所で水量を調整すると量が正確に計れないことがあります。
	内がまの外側、センサーなどに米粒や食材がついていませんか？	取り除いてから調理してください。
	内ぶたや内がま、パッキンがめくれたり変形していませんか？	パッキンを正しく付け直してください。内ぶたや内がまが変形したままの使用は故障の原因になりますので直ちに使用を中止してください。
	無洗米を使用していませんか？	無洗米はおこげが出来やすくなります。
	白米以外を炊いていませんか？	玄米、もち米、無洗米、酢飯などは水の分量が異なります。食材にあわせたレシピを確認してください。
食材がふきこぼれた	少量のご飯を炊飯、保温しましたか？	少量のご飯を炊飯、保温する際は中央に寄せてください。また、保温せずにラップなどに包み冷凍保存してください。
	量が多すぎませんか？	水位は白米の2合の線よりも下げてください。
食材が変色したり、におったりする	葉物野菜、薄切り肉、薄皮などが蒸気口に詰まっていますか？	詰まった食材を取り除いてください。薄く平たい食材は蒸気口につまり、故障の原因になるため別途調理してください。
	長時間ごはんを内がまに入れたままにしていますか？	ご飯の腐敗や変色を防ぐため、長時間の保温や放置をしないでください。(目安として保温は6時間以内)
	硬度の高い水やアルカリイオン水で炊いていませんか？	PH9以上のアルカリ性の水や硬水のミネラルウォーターなどは使わないでください。

製品仕様

電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	W199×D254×H203(mm)
重量	約1.5kg(本体のみ)
消費電力	250W(加熱中)/1W(待機電力)
加熱方式	マイコン式リレー制御ヒーター
機能	調理(炊飯/おかゆ/スープ/離乳食)
かま容量	1.2L ※炊飯2合の水位線以下に抑えること
炊飯容量	0.36L(2合)
炊飯時間	45分±15分(自動調整)
タイマー	最大24時間(調理開始タイマー)
安全機能	温度過昇防止機能、温度ヒューズ2個(216℃)
コード長	約100cm
保証期間	1年間

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
- ・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・ 本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・ 本製品は、日本国外では使用できません。
- ・ 本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・ This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・ This product can not be used outside Japan.
- ・ We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・ We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

テクニカルサポートダイヤル

03-5421-0580

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F
<https://www.green-house.co.jp>

Ver.1.0